

東京農業大学稲花小学校

学校だより【5月20日～24日】第7号



稲花タイム「食と農の学習」【田植え】

5月23日(木)、横浜市青葉区田奈の田んぼで、農大稲花小学校の第一期生である一年生72名が田植えをしました。農大稲花小学校からバスで出発、車内では、英語担当の先生から車内安全についてのアナウンスをしてもらったり、歌を歌ったりと元気いっぱい。

事前学習は、東京農業大学 農芸化学科 加藤拓准教授にお世話になり、また、田んぼでは、東京農大の横田健治教授、野口智弘教授から苗の話を、さらには、地元農家の野路秀雄氏から、1粒の苗から何粒のお米ができるかを教えていただき、子供たちは興味津々でした。

“ミニ講義”の後は、靴下をはいて全員が田んぼに入り、先生方やアシスタントの東京農大大学院生・学生達から苗を受け取り、田植えを行いました。泥んこを嫌がる子どもがいるかも、という心配はどこへやら、どの子どもたちも迷いなく苗を植えに進みました。

もちろん、浮いたり、曲がったりと、田植えの腕前はまだまだですが、田んぼに入って農家さんとお話をしたり、大学の先生やお兄さん・お姉さん達に教えてもらって田植えをしたり、カエルがいたよ！という経験は、本校ならではですね。田んぼで尻もちをついた子どもも、最後は意気揚々と田植えを終え、そのたくましが嬉しい一日でした。

当日は、日本農業新聞の取材もあり、大いに盛り上がりました。

また、東京農大と包括連携協定を締結している株式会社ミツハシ様から協賛いただいたおにぎりでの昼食は、お米について学んだ一日にふさわしいもので、そのおいしさはひとしおだったことでしょう。

*株式会社ミツハシ <http://www.3284rice.com>

本校では、体験を体験だけに終わらせず、確かな学力に結び付ける教育を行っています。今日の体験が、子どもたちの心に深く根を下ろして、大きく育っていくことを期待しています。

校長 夏秋 啓子